



## PRESS RELEASE

令和 8 年 3 月 27 日

**メディア関係者限定で、記憶の常識が覆る【公開実験】を実施します  
～記憶は消えずにずっと残り続ける鳥肌ものの結果を体験してもらいます～**

## ◆発表のポイント

- ・人間が、“信じられない驚異的記憶能力”を持つことを証明する実験を、報道機関のみなさまに初公開します。実験に参加する学生からは、「信じられない」、「鳥肌が立った」といった声が出てきますので、その声を取材していただければと思います。
- ・可能であれば、ぜひご自身で2回の実験に参加し、結果を体感してください。
- ・記憶の常識が間違いなく変わり、情報、医学、薬学などさまざまな分野で、大きなインパクトが生まれてくると考えられます。岡山大学では、教育分野で、既にこの記憶理論に基づき開発された新しい学習法（マイクロステップ・スタディ）で大きな成果を生み出しています。
- ・7月と8月に、一般（中学生以上）の方向けに再度公開実験を実施する予定です。

人間は、自覚できない、意識下の記憶をもっています。この記憶は長期記憶の中の潜在記憶といわれ、膨大な実験研究がなされてきましたが、その存在を誰もがわかる形で、明確に示すことはできませんでした。今回の実験は、その存在を目に見える形で劇的に示すことができます。最近、その方法が海外の主要ジャーナルに掲載されたのにあわせて、今回初めて公開実験をすることにしました（Masuoka, Nishiyama, Tsurusaki, Terasawa[2025]参照）。

実験は2回の学部授業の中で行います。1回目の実験では、全く意味のないメロディーを何個か聴き流してもらいます（5分程度）。それから約1か月後の2回目の実験で、1か月前に聞き流したメロディーと、聞いていないメロディーを使って簡単な判断をしてもらいます。その判断の数を、各自で集計してもらおうと、集計結果に劇的な違いが出てきます。公開実験では、絶対に覚えられないと思う聴覚の感覚記憶が1か月消えないことを見える形で完璧に証明します。

実験のスケジュールは次の通りです。授業の受講生の人数などにより日時と場所を変更する場合がありますので、4月の記者発表（4/17）で再度詳細をお伝えします。実験条件を整えるため、実験に参加（取材）いただく場合は、必ず事前に連絡をお願いします。

第1回目：2026年4月23日（木） 10:00～10:30 場所：別途連絡

第2回目：2026年5月28日（木） 8:40～10:30 場所：別途連絡

記憶は消えずに残り続けるという新しい記憶理論をベースに、新しいeラーニング（マイクロステップ・スタディ：MSS）が開発され、成果が出始めています。驚くほど効率的に英検のスコアを上げられるようになったほか、高松市、大阪市西成区の小学校等でMSSの導入が進み、意欲を失った子どもの意欲を有意に上げられるようになったことや、全国学力・学習状況調査（全国学力）や自治体の経年テストの成績を、1日5分程度のMSSの学習が有意に大きく上げられることなど、さまざまな成果が出てきています。詳細は、公開実験と並行して来年度から本格的にプレスリリースしていきます。



## PRESS RELEASE

### ◆研究者からのひとこと

初めてこの実験結果を見た時は、何かのエラーではないかと思いましたが。正直、理論的には予測できても、到底信じられない結果でした。その後、何年も検証実験を繰り返しましたが、100発100中で同様の結果が出てくるのがわかり、今回の公開実験につながりました。

また、この効果を長期にわたって可視化する方法を導入したeラーニングがマイクロステップ・スタディです。ようやく社会に役立てられる道筋が見えてきました。この流れについては、TEDxでの講演をご参照ください (<https://www.youtube.com/watch?v=Zamjc-bgmn0>)。

この成果により、記憶の常識が覆り、さまざまな分野で理論の再構築が始まると思います。ぜひ実験で体験してください。



寺澤 教授

### ■研究資金

本公開実験は、文部科学省科学研究費補助金基盤研究A（研究代表者：寺澤孝文）の研究成果の発表として行います。

### ■関連のプレスリリース

[・わずか1日5分のeラーニングが総合的英語能力試験（GTEC®）スコアを上げられることを支持する研究成果が主要雑誌に掲載（世界初） 新たなテスト原理により知識習得はコンピュータに任せられる時代が到来](#)

[・5分間見流すだけの英単語学習が英検®スコアを向上させる世界初の成果～潜在記憶理論を基盤としたeラーニングの効果検証～](#)

<お問い合わせ・取材申込み>

岡山大学 寺澤孝文研究室

（電話：研究室）086-251-7714



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。